

## 五木森林共同施業団地における令和5年度協調出荷等について

### 1. 実施計画における協調出荷の計画

現行の五木森林整備協定実施計画（令和5年度～令和9年度）における協調出荷の計画量は、計画全体で主伐：2,800m<sup>3</sup>、間伐：145m<sup>3</sup>となっており、うち令和5年度の計画は主伐：400m<sup>3</sup>、間伐：50m<sup>3</sup>となっている。

### 2. これまでの協調出荷の実施状況

これまでの協調出荷の実施状況は、民有林からの協調出荷の出材量は令和元年度までの民国協調種STEM販売による出荷に代え、令和3年度から民有林のみによる木脇産業への安定供給への取り組みが開始されてきたところであり、民有林からの協調出荷への出材料は令和3年度が472m<sup>3</sup>、令和4年度が464m<sup>3</sup>となっている。

この過程で令和2年7月豪雨による林道等搬出施設の災害等による出材が困難になる等の事情があった。

### 3. 令和5年度の協調出荷の実施状況

令和5年度の協調出荷の実施状況についてみると2月中旬時点では令和5年度中の協調出荷は困難な状況となっている

その理由としては、

- ① 都城方面への出荷が出材箇所の位置関係から運搬距離(コスト)が不利になると考えられた
- ② 路網の災害復旧が未済のため搬出が困難である
- ③ 間伐主体で、需要者のニーズに応えられる規格の出材が困難であった
- ④ 協調出荷について山主と調整中あるいは今後調整することとしている

などの点が聞かれた。

なお、非公共間伐補助事業による間伐材での協調出荷については、前年度9月末まで（県への申請期限）までに各協定者からの出荷が示されなかったことから、今年度の出荷はなく、次年度の各協定者の意向については、次ページのとおりとなっている。

### 4. 協調出荷に向けての課題と今後の進め方

今年度の協調出荷の状況から、協調出荷に当たっての課題やとして以下の点等が考えられる

- ・ 山土場での仕分け（十分な土場の確保）と仕分け精度の確保
- ・ 中間土場と出荷先、生産現場の位置関係（新たな中間土場の設置）
- ・ 協調出荷による有利性の明確化
- ・ 一定程度の出材量の確保

今後協調出荷を進めるにあたっては、各協定者の意向をまず第一に尊重し、これらの課題一つ一つの解消をはかりつつ、各協定者の経営にとって不利となることの無いよう価格面での有利性や集荷の効率性をより明らかにしつつ進めていく必要がある。

## 協調出荷意向整理表

協定者名	令和6年度非公共間伐事業による木脇産業への出荷	令和6年秋以降ランバーやまとへの出荷
森林整備センター	・参加の意向はない	・参加の意向はない
住友林業日向森林事業所	・今後検討したい ・作業道復旧のめどが立っておらず、今後可能となれば検討したい	・今後検討したい ・作業道復旧のめどが立っておらず、今後可能となれば検討したい
九州横井林業	・間伐材の出荷の予定はないので新たに主伐材で参加したい	・今後検討したい ・主にスギが多いので今後ヒノキを生産する時に検討したい
王子木材緑化日向営業所	・今後検討したい	・今後検討したい
日本製紙木材（南栄）	・間伐材の出荷の予定はないので新たに主伐材で参加したい	・参加したい ・数量：主伐材ヒノキ：200m <sup>3</sup> /年
五木村森林組合	・参加したい ・数量：間伐材スギ500m <sup>3</sup> 、ヒノキ300m <sup>3</sup> ・引き渡し場所：五木村内の中間土場 (協調出荷に参加する事業者が3社以上必要と考える。)	・今後検討したい ・双方の利益に繋がる価格設定が可能なのか、検討材料が多く今後検討したい。
五木村	・参加の意向はない	・参加の意向はない
木城林産	・参加の意向はない	・参加の意向はない
中国木材	・参加の意向はない（自社工場・協力会社への出荷のため）	・参加の意向はない（自社工場・協力会社への出荷のため）